

静電気の耐性試験

- 静電気の耐性試験を行うことができます。
- 人体からの静電気放電を模擬して、耐性（故障しない、誤動作しないなど）を確認する試験です。

試験機のスペック

出力電圧	0. 2kV~30. 0kV
放電間隔	0. 05~600秒
充電用コンデンサ	150pF (500pF)
放電抵抗	330Ω (100Ω、500Ω、2kΩ)
購入年度	1997年度
設置場所	東毛産業技術センター(太田市)



静電気とは

- 摩擦や剥離などにより**物体に帯電した電荷**。
- 日常生活では、特に空気が乾燥する時期に、人体に蓄えられ、ドアノブや車の車体などの**金属部に触れたときに放電**し、ピリっと感じる。
- 電圧は、**数千～数万ボルト**。
- 放電時の電流は**1～数ミリアンペア**。
極小のため、人命にかかわることはない。
 - しかし電子機器にとっては、**誤動作や故障の原因**となる。

そこで…

静電気対策（製造者）

- 適切にアースをとる
- 筐体の構造を工夫する
- バリスタなどの静電気対策部品を使うなど。

静電気許容度試験（産業技術センターにて）

- 人体からの静電気放電を模擬した静電気耐性試験。
 - 製品に対して、実際に静電気放電をおこない、故障や誤動作がないことを確認する試験。
 - IEC61000-4-2 などで規格化されている。
-

産業技術センターが所有する試験機

本体：ESS-200AX ((株)ノイズ研究所)

放電ガン：TC-815D(F) ((株)ノイズ研究所)



スペック:

出力電圧	0. 2kV~30. 0kV
放電間隔	0. 05~600秒
充電用コンデンサ	150pF (500pF)
放電抵抗	330Ω (100Ω、500Ω、2kΩ)
購入年度	1997年度
設置場所	東毛産業技術センター(太田市)

産業技術センターでできる 電磁的なノイズ耐性(EMS)試験

- 静電気許容度 (IEC61000-4-2)
 - 放射イミュニティ (IEC61000-4-3)
 - ファストランジェント・バースト (IEC61000-4-4)
 - 雷サージ (IEC61000-4-5)
 - 伝導イミュニティ (IEC61000-4-6)
 - 磁界イミュニティ (IEC61000-4-8)
 - 電圧ディップ・瞬停 (IEC61000-4-11)
-

お問い合わせ

- 試験は予約制となっております。
(Webページで空き状況が確認できます。)
- 試験条件などにより、試験が実施できないこともあります。

2017年5月

日	月	火	水	木	金	土
	1 午前:× 午後:×	2 午前:○ 午後:○	3	4	5	6
7	8 午前:○ 午後:○	9 午前:× 午後:×	10 午前:○ 午後:×	11 午前:○ 午後:○	12 午前:○ 午後:○	13
14	15 午前:× 午後:×	16 午前:○ 午後:○	17 午前:× 午後:×	18 午前:× 午後:×	19 午前:× 午後:×	20
21	22 午前:○ 午後:○	23 午前:× 午後:×	24 午前:× 午後:×	25 午前:○ 午後:○	26 午前:○ 午後:○	27
28	29 午前:○ 午後:○	30 午前:× 午後:×	31 午前:× 午後:×			

まずは、電話でお問い合わせください。

東毛産業技術センター（太田市）

電磁技術係

電話： 0276-40-5090